

令和7年度「幼児期から学童期を通しての連携した取組状況」について

1 小学校へのスムーズな就学にむけての取組

① 就学前の子どもの小学校での生活体験の促進【学校教育課】

7月の校長会にて、「行事以外での施設見学・授業見学・授業体験・小学生との交流活動などの計画及び校区内の保育所(園)・認定こども園・幼稚園への案内、また、保育所(園)・認定こども園・幼稚園から実施希望の連絡があった場合の対応」を依頼しました。

② 保育所(園)・認定こども園・幼稚園と小学校との引継ぎ【学校教育課】

来年度の入学に向けて、各保育所(園)長、認定こども園長、幼稚園長、小学校長へ文書で依頼しました。

③ 5歳児発達支援事業の実施【こども発達支援室】

問診票や園での集団観察を通して集団生活に必要な社会性などの発達状況を把握し、就学を見据えた子どもの特性に応じた適切な支援につなげました。また、必要に応じて専門職によるサポート相談会を案内しました(25人・参加率64.1%)。

実施児童数 781人(市内43園)

④ 移行支援訪問の実施【こども発達支援室】

幼児期に巡回相談や保護者から相談等のあった児童の入学予定校を訪問し、子どもの特性や有効な支援等についての情報を引き継ぎ、児童が学校生活をスムーズにスタートできるよう支援を行いました。

	小学校	中学校
実施児童数	172人(21校)	11人(5校)

2 教育・保育関係職員他施設での体験等(相互交流)の実施【学校教育課】

① 幼稚園教諭による交流体験・・・2園のべ15人が実施

	公立保育所へ	私立保育所へ	認定こども園へ	公立幼から 私立幼へ
交流体験実施人数	5人	3人	7人	0人

② 保育所(園)保育士による交流体験・・・10園のべ15人が実施

	公立幼稚園へ	私立幼稚園へ	認定こども園へ
交流体験実施人数	6人	2人	7人

③ 認定こども園教員による交流体験・・・5園のべ21人が実施

	公立幼稚園へ	私立幼稚園へ	公立保育所へ	私立保育所へ
交流体験実施人数	3人	1人	8人	9人

④ 小学校教員の保育体験・保育参観等

13校のべ68名(1月末現在)の教員が、小学校の近隣や就学予定児童が在籍している保育所(園)・認定こども園・幼稚園で、保育体験・保育参観等を実施しました。

就学をひかえた時期には、就学先関係者が保育参観・引継ぎを行う機会をもっています。

3 教育・保育の研修講座の実施【教育研究所】

「あそびの中の育ちと学びを大切にする」

講師：玉川大学教育学部 教授 田澤 里喜さん

4 特別支援教育における支援体制整備の促進

① 巡回相談の実施【学校教育課・こども発達支援室】

担当巡回相談員	公立/私立 保育所(園)	公立/私立 認定こども園	公立/私立 幼稚園
こども発達支援室	15園	5園	4園
特別支援学校	2園	1園	なし

※それぞれ障がいの種別が異なるため、1園で複数の相談員が巡回しているところもあります。

※こども発達支援室と特別支援学校どちらの巡回相談も受けている園もありますので、実施園の合計はのべ数となっています。

② 巡回相談(相談体制)の充実【学校教育課・こども発達支援室】

こども発達支援室による巡回相談、学校教育課を通じた特別支援学校による巡回相談をそれぞれ実施しました。

*学校教育課では、支援を必要とする子どもについての観察や聞き取り、各園の教諭・保育士への支援を行いました。

*こども発達支援室では、支援を必要とする子どもについて観察を行い、各園の教諭・保育士への支援を行いました。また、巡回相談後には、「CLMと個別の指導計画」を使用し、具体的な支援を実施しました。

③ 「CLMと個別の指導計画」の推進【こども発達支援室】

「CLMと個別の指導計画」は、子どもの発達や特性に合った具体的な支援を実施するために、県立子ども心身発達医療センターが開発したツールであり、発達に課題のある子どもの早期発見・早期支援を図り、途切れのない支援につなげています。

	公立/私立 保育所(園)	公立/私立 認定こども園	公立/私立 幼稚園
実施園数	22園	6園	6園